

京都市における PRTR 法に基づく届出（平成 25 年度データ）の集計結果について

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下「PRTR 法」という。）では、業種や従業員数等の一定要件を満たす事業者は、毎年、前年度に各事業所で取り扱った化学物質について、大気や河川等の環境中へ排出する量及び廃棄物等として事業所外へ移動する量を把握し、届け出ることを義務付けています。

この度、平成 26 年度に京都市内の事業所から届出があった「平成 25 年度の化学物質の排出量等」の集計結果を下記のとおり取りまとめましたので、お知らせします。

記

1 PRTR 法の目的

国及び自治体が、人の健康や動植物に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質の環境への排出量を把握し公表することにより、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、化学物質による環境汚染を未然に防止することを目的としています。

2 事業所からの届出情報

（1）行政区・業種別届出件数

京都市内の 194 事業所から届出がありました。届出件数の内訳は、表－1（次ページ）に示すとおりです。行政区別では、南区の 50 件が最も多く、次いで、伏見区の 42 件、右京区の 28 件の順となっています。業種別では、燃料小売業（ガソリンスタンド）の 91 件が最も多く、次いで製造業の 75 件の順となっています。

（2）届出された物質

PRTR 法の対象物質である 462 物質のうち、131 物質について届出があり、1 事業所当たりでは平均約 6 物質となっています。

届出数が最も多かった物質は、トルエンの 124 件で、次いでキシレンの 120 件、エチルベンゼンの 99 件の順となっており、この 3 物質はいずれも、主に塗料等の溶剤やガソリン中に含まれています。

表－１ 行政区・業種別の届出件数

行政区 業種名		北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計
製造業		2	1	0	5	2	5	2	30	15	0	13	75
	食料品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	繊維工業	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	5
	家具・装飾品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出版・印刷・同関連産業	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0		7
	化学工業	1	0	0	1	1	1		10	2	0	5	21
	医薬品製造業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2
	プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	3		0	1	4
	窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	非鉄金属製造業	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	3
	金属製品製造業	0	1	0	0	0	0	0	6	2	0	2	11
	一般機械器具製造業	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	3
	電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	2	4	0	0	7
	輸送用機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
	精密機械器具製造業	0	0	0	1	1	0	1	2	0	0	0	5
	医療用機械器具・医療用品製造業	0		0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
下水道業		0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	5
石油卸売業		0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	3
燃料小売業		4	5	6	4	0	11	11	14	11	3	22	91
洗濯業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
自動車整備業		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
機械修理業		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
商品検査業		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計量証明業		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
一般廃棄物処理業		0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	4
産業廃棄物処分業		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
特別管理産業廃棄物処分業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
高等教育機関		0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	0	5
自然科学研究所		0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	3
合計		6	7	10	11	2	18	15	50	28	5	42	194

3 届出排出量及び移動量の集計結果

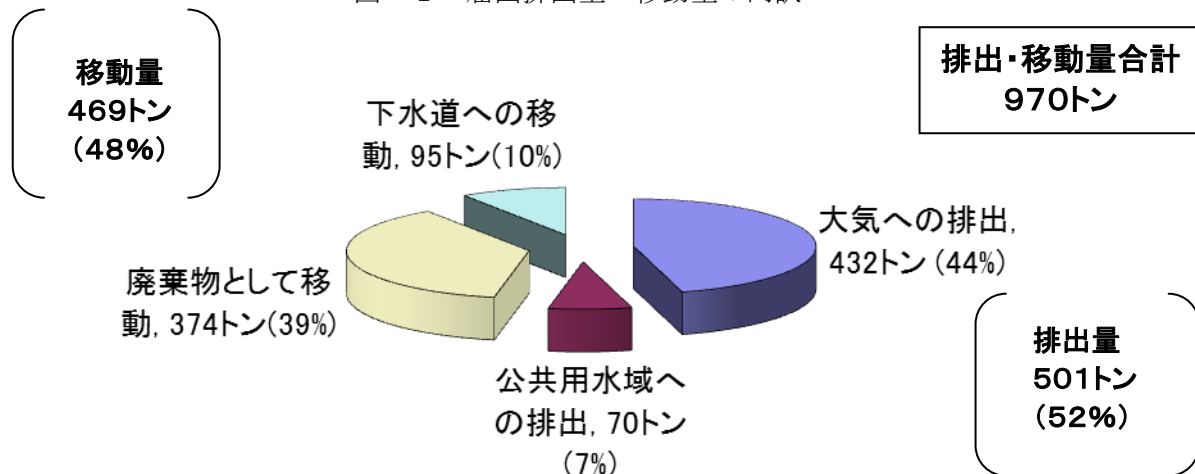
(1) 全事業所及び全物質の排出量・移動量

届出のあった排出量・移動量の合計は970トンであり、そのうち排出量は501トン(52%)、移動量は469トン(48%)となっています。

排出量(501トン)の内訳は、大気への排出量が432トン(86%)、公共用水域への排出量が70トン(14%)となっており、大部分が大気への排出となっています。

移動量(469トン)の内訳は、廃棄物としての移動量が374トン(80%)、下水道への移動量が95トン(20%)となっており、大部分が廃棄物としての移動となっています。

図 - 1 届出排出量・移動量の内訳

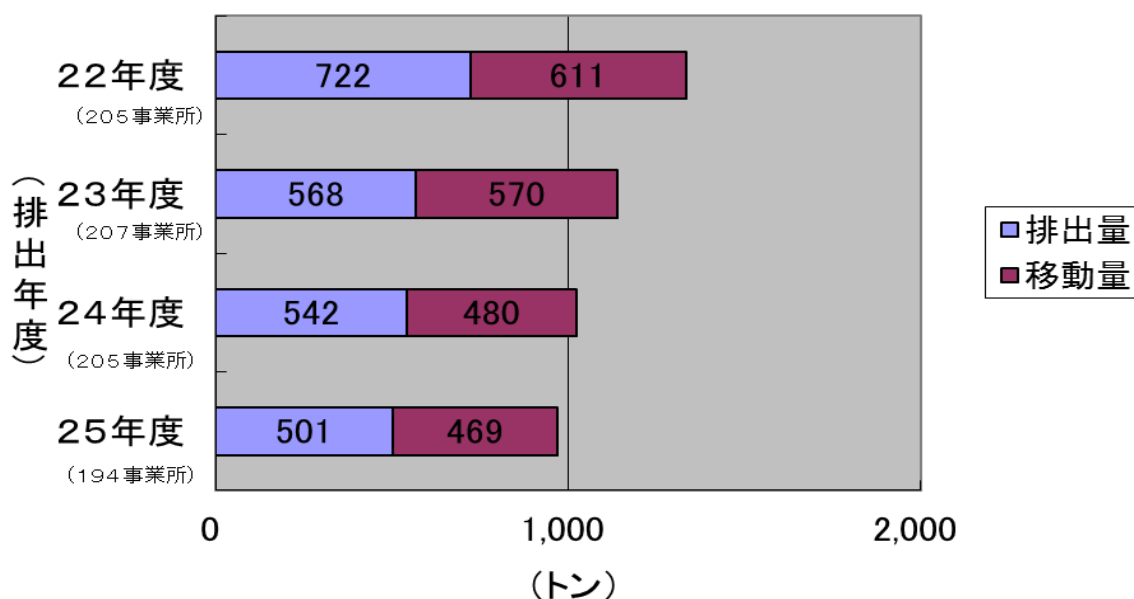


※排出量・移動量の合計は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(2) 届出排出量・移動量の経年変化

前年度と比較すると、届出事業所数は11件減少しており、大気や公共用水域への排出量は41トン減少、廃棄物や下水道への移動量は11トン減少しています。

図 - 2 届出排出量・移動量の経年変化

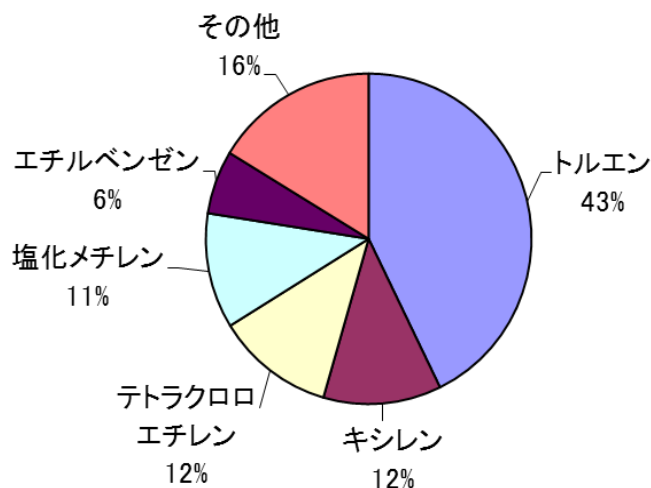


※()内は届出事業所数を示す。

※排出量・移動量の値は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(3) 大気への排出量が多かった物質

排出量のうち、大気への排出量が多かった上位5物質は、表－2に示すとおり、トルエン、キシレン、テトラクロロエチレン、塩化メチレン、エチルベンゼンの順となっています。これらの物質の大気への排出量の合計は、361トンであり、大気への排出量全体の84%を占めています。



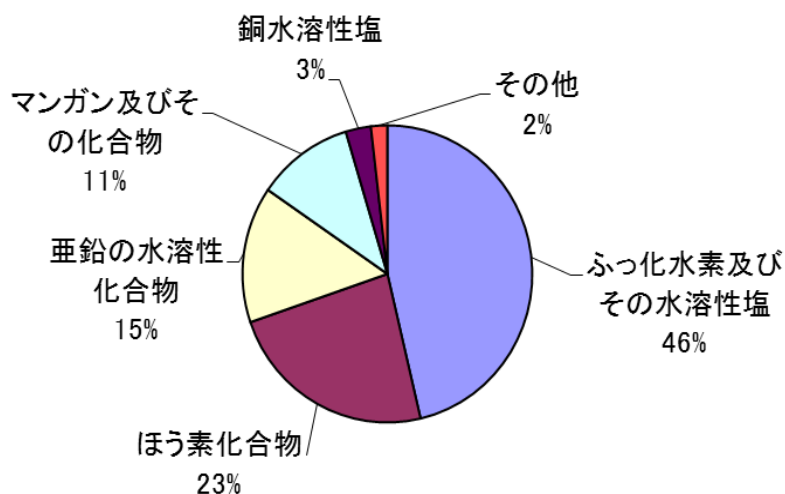
表－2 上位5物質の大気への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	トルエン	185トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
2	キシレン	51トン	合成原料, ガソリン・灯油成分, 溶剤
3	テトラクロロエチレン	50トン	ドライクリーニング溶剤, 洗浄剤
4	塩化メチレン	49トン	洗浄剤, 溶剤
5	エチルベンゼン	27トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
上位5物質合計		361トン	—
総計		432トン	—

※各物質の排出量の値は、端数を四捨五入しているため上位5物質合計と合わない場合があります。

(4) 公共用水域への排出量が多かった物質

排出量のうち、公共用水域（河川）への排出量が多かった上位5物質は、表－3に示すとおり、ふっ化水素及びその水溶性塩、ほう素化合物、亜鉛の水溶性化合物、マンガン及びその化合物、銅水溶性塩の順となっています。これらの物質の公共用水域への排出量の合計は、68トンであり、公共用水域への排出量全体の98%を占めています。



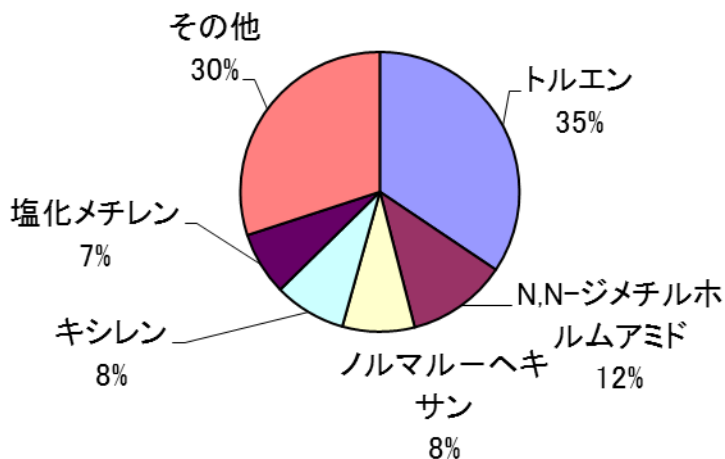
表－3 上位5物質の公共用水域への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	32トン	半導体や金属の研磨
2	ほう素化合物	16トン	電子工業, ガラス原料
3	亜鉛の水溶性化合物	10トン	金属表面処理, 乾電池
4	マンガン及びその化合物	8トン	鋳造, 電池
5	銅水溶性塩	2トン	メッキ, 農薬原料, 電池
上位5物質合計		68トン	—
総計		70トン	—

(5) 廃棄物として移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、廃棄物としての移動量が多かった上位5物質は、表－4に示すとおり、トルエン、N,N-ジメチルホルムアミド、ノルマルーヘキサン、キシレン、塩化メチレンの順となっています。

これらの物質の廃棄物としての移動量の合計は、262トンであり、廃棄物としての移動量全体の74%を占めています。



表－4 上位5物質の廃棄物としての移動量と各物質の用途

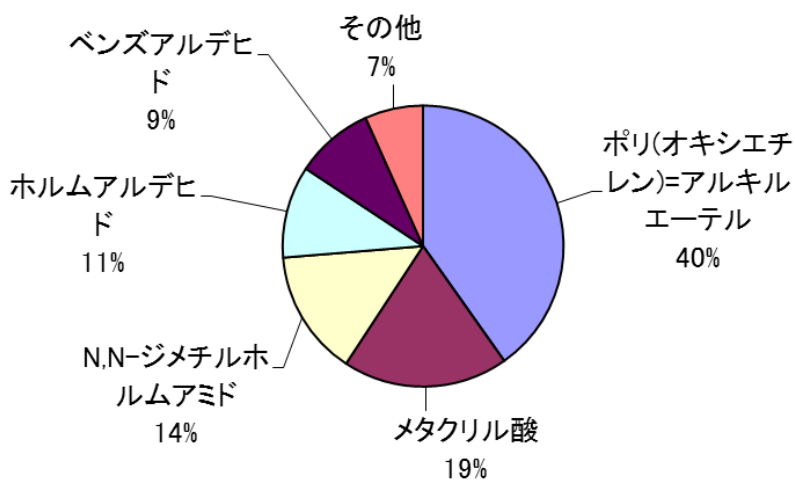
順位	物質名	移動量	用途
1	トルエン	129トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
2	N,N-ジメチルホルムアミド	43トン	溶剤, 試薬
3	ノルマルーヘキサン	31トン	洗浄剤, 溶剤
4	キシレン	31トン	合成原料, ガソリン・灯油成分, 溶剤
5	塩化メチレン	27トン	洗浄剤, 溶剤
上位5物質合計		262トン	—
総計		374トン	—

※各物質の移動量の値は、端数を四捨五入しているため上位5物質合計と合わない場合があります。

(6) 下水道への移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、下水道への移動量が多かった上位5物質は、表－5に示すとおり、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル、メタクリル酸、N,N-ジメチルホルムアミド、ホルムアルデヒド、ベンズアルデヒドの順となっています。

これらの物質の下水道への移動量の合計は、88トンであり、下水道への移動量全体の93%を占めています。



表－5 上位5物質の下水道への移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	38トン	界面活性剤, 乳化・分散剤
2	メタクリル酸	18トン	重合原料, 加工剤
3	N,N-ジメチルホルムアミド	14トン	溶剤, 試薬
4	ホルムアルデヒド	10トン	重合・合成原料
5	ベンズアルデヒド	9トン	染料, 香料, 医薬品
上位5物質合計		88トン	—
総計		95トン	—

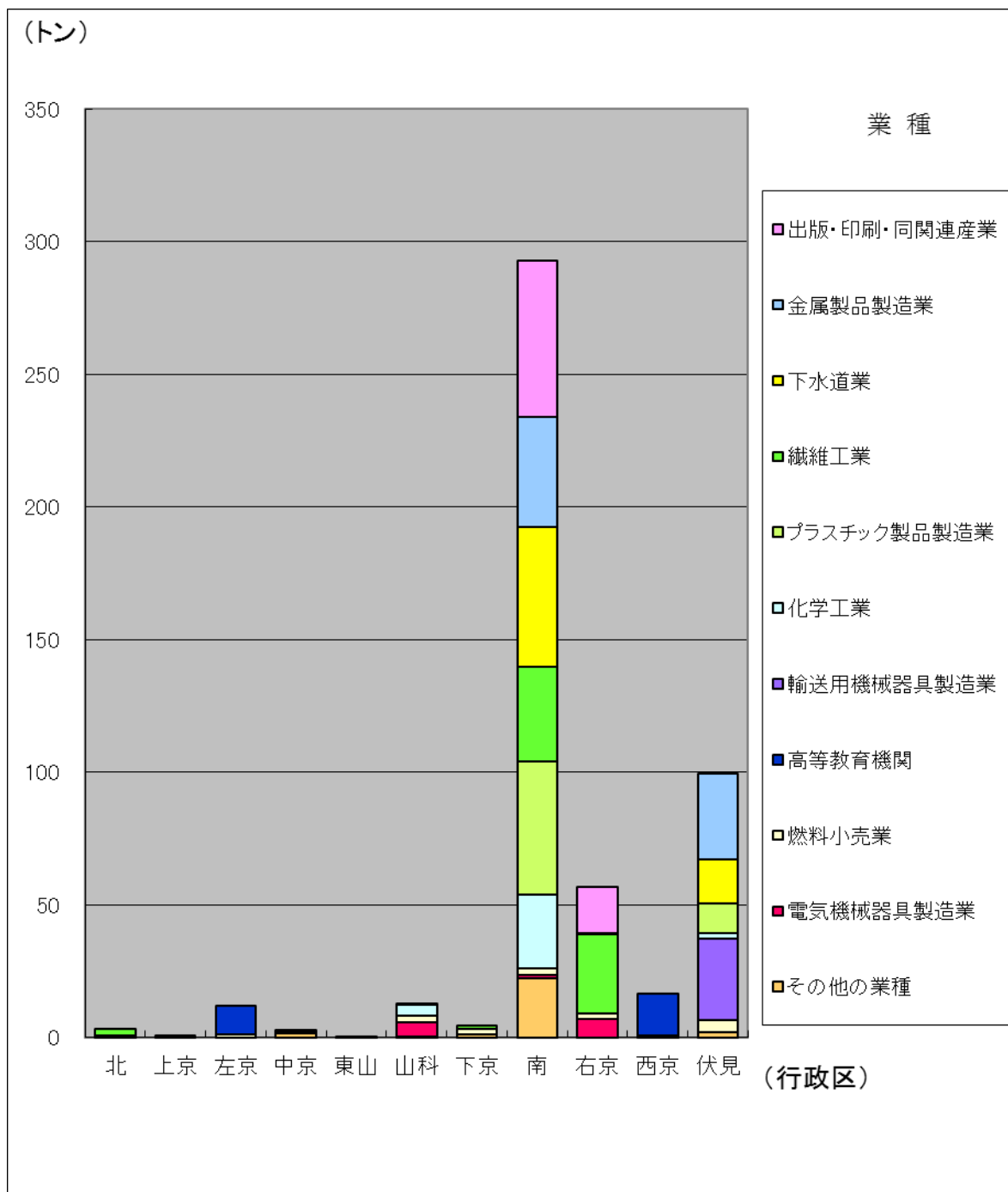
※各物質の移動量の値は、端数を四捨五入しているため上位5物質合計と合わない場合があります。

(7) 行政区・業種別排出量

排出量の内訳は、表－6（次ページ）に示すとおりです。行政区別では南区の293トンが最も多く、次いで伏見区の100トン、右京区の57トンの順となっています。

業種別では出版・印刷・同関連産業の76トンが最も多く、次いで金属製品製造業の74トン、下水道業の70トンの順となっています。

図－3 行政区別の排出量



表－６ 行政区・業種別の排出量

単位：kg／年

業種	行政区	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業		2,226	0	0	1,435	135	10,037	2,500	232,160	54,282	0	76,597	379,372	75.7%
食料品製造業													0	0.0%
繊維工業		2,200						1,200	35,560	30,000			68,960	13.8%
家具・装飾品製造業													0	0.0%
出版・印刷・同関連産業									59,058	17,117			76,175	15.2%
化学工業		26			35	135	4,280		27,885	24		2,122	34,507	6.9%
医薬品製造業							221						221	0.0%
プラスチック製品製造業									50,200			11,000	61,200	12.2%
窯業・土石製品製造業									875				875	0.2%
非鉄金属製造業									24				24	0.0%
金属製品製造業							36		41,700	162		32,500	74,398	14.8%
一般機械器具製造業					1,400				4,200				5,600	1.1%
電気機械器具製造業							5,500		1,578	6,880			13,958	2.8%
輸送用機械器具製造業										99		30,500	30,599	6.1%
精密機械器具製造業								1,300	10,300				11,600	2.3%
医療用機械器具・医療用品製造業												470	470	0.1%
その他の製造業									780			5	785	0.2%
下水道業									52,692	186		16,762	69,640	13.9%
石油卸売業												10	10	0.0%
燃料小売業		922	532	1,329	711		2,509	1,910	2,224	2,109	670	4,844	17,760	3.5%
洗濯業												1,400	1,400	0.3%
自動車整備業									1,300				1,300	0.3%
機械修理業									4,600				4,600	0.9%
商品検査業					90								90	0.0%
計量証明業					251								251	0.1%
一般廃棄物処理業													0	0.0%
産業廃棄物処分業													0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業													0	0.0%
高等教育機関			22	10,826			45				15,850		26,743	5.3%
自然科学研究所									91				91	0.0%
合計		3,148	554	12,155	2,487	135	12,591	4,410	293,067	56,577	16,520	99,613	501,257	100.0%
割合		0.6%	0.1%	2.4%	0.5%	0.0%	2.5%	0.9%	58.5%	11.3%	3.3%	19.9%	100.0%	－

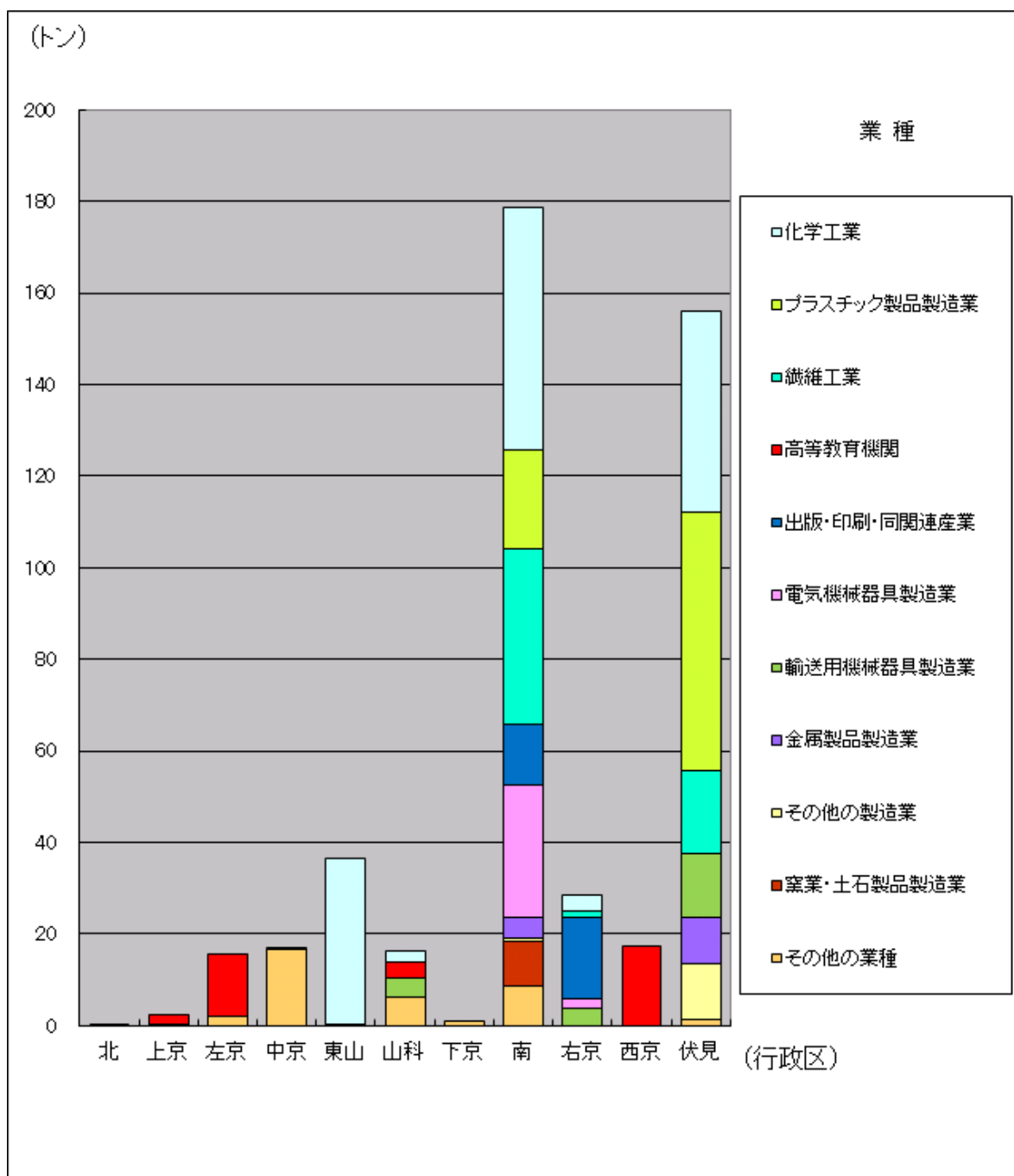
※排出量の合計・割合は、端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。

(8) 行政区・業種別移動量

業種別・行政区別の移動量の内訳は、表－７（次ページ）に示すとおりです。行政区別では南区の１７９トンが最も多く、次いで伏見区の１５６トン、東山区の３６トンとなっています。

業種別では、化学工業の１３９トンが最も多く、次いでプラスチック製品製造業の７８トン、繊維工業の５８トンの順となっています。

図－４ 行政区別の移動量



表－７ 行政区・業種別の移動量

単位 kg／年

業種	行政区	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業		91	429	0	5,344	36,401	12,393	40	173,159	28,381	0	155,865	412,103	87.9%
食料品製造業													0	0.0%
繊維工業									38,213	1,300		18,000	57,513	12.3%
家具・装飾品製造業													0	0.0%
出版・印刷・同関連産業									13,320	17,782			31,102	6.6%
化学工業	91				104	36,091	2,126		53,197	3,420		43,815	138,844	29.6%
医薬品製造業					1,900		4,200						6,100	1.3%
プラスチック製品製造業									21,600			56,500	78,100	16.7%
窯業・土石製品製造業									10,071				10,071	2.1%
非鉄金属製造業							1,855		356				2,211	0.5%
金属製品製造業			429						4,551	59		10,250	15,289	3.3%
一般機械器具製造業					1,840				1,270				3,110	0.7%
電気機械器具製造業									29,045	2,020			31,065	6.6%
輸送用機械器具製造業							4,212			3,800		14,000	22,012	4.7%
精密機械器具製造業					1,500	310		40	1,166				3,016	0.6%
医療用機械器具・医療用品製造業												1,300	1,300	0.3%
その他の製造業									370			12,000	12,370	2.6%
下水道業													0	0.0%
石油卸売業													0	0.0%
燃料小売業													0	0.0%
洗濯業												58	58	0.0%
自動車整備業									200				200	0.0%
機械修理業													0	0.0%
商品検査業					2,400								2,400	0.5%
計量証明業					9,000								9,000	1.9%
一般廃棄物処理業													0	0.0%
産業廃棄物処分業													0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業													0	0.0%
高等教育機関		2,001	13,443				3,770				17,185		36,399	7.8%
自然科学研究所			2,000					1,100	5,500				8,600	1.8%
合計		91	2,430	15,443	16,744	36,401	16,163	1,140	178,859	28,381	17,185	155,923	468,760	100.0%
割合		0.0%	0.5%	3.3%	3.6%	7.8%	3.4%	0.2%	38.2%	6.1%	3.7%	33.3%	100.0%	－

※排出量の合計・割合は、端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。